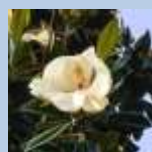


佐倉市立上志津中学校

泰山木



H26.5.1

発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	86名
2年生	108名
3年生	115名
計	309名



風薫る五月、いい季節です！☆

校長 山口 俊久

今年の桜は例年以上に色鮮やかで、花数も多く見事です。ただ、八重桜は落下した花弁が近隣のお家にご迷惑をおかけしており申し訳ありません。今学校は、チューリップやハナミズキ、タンポポやツツジと花がいっぱいです。過ごしやすい、いい季節となりました。四月八日（火）、新入生八十六名が入学しました。総勢三百九名の生徒と二十七名の教職員で平成二十六年度が始まりました。

殆どの三年生が最高学年であることを意識し、授業や部活動にと頑張っている姿が見られます。良い雰囲気での授業が増えました。やや乗り遅れている人、あつという間に一月が過ぎましたが、大丈夫かな？今は、五月末に控えている『修学旅行』の事で頭がいっぱいなのでしょうか。

二年生の教室はいつも整理整頓ができています。学級編成をしました。落ち着いて生活しています。しかし、やや元気のなさが気になります。朝の出席確認の返事。授業中の本読みの声等々。『自然教室』の準備も始まったはず。元気を出しましょう。

一年生は元気があります。本格的に授業も開始し、徐々に中学校生活にも慣れてきたようです。欠席者が殆どいないのも良いです。しかし、臨時で集会を開いて「相手を傷つけるような発言や行動が見られる」とこへの指導をしています。何気ない一言で、傷ついている人があなたの近くにいませんか？

五月に入り、部活動は一年生も正式入部となり朝練習が始まり、全学年揃っての本格的な活動が始まりました。話は変わり、本校の教育目標『心優しく、たくましく生きる生徒の育成』と『四つの約束』については先月号に記載しましたが、今月は「清掃」について触れます。

「10000人のお掃除革命 掃除で会社を伸ばす」 個人の心を磨き、社会を磨く

大まかにいって、掃除は「拭く」、「拭く」、「磨く」の段階があり、一番低いレベルが「拭く」である。極論を言えば、拭くというのは手を濡らすのが寒いか、雑巾を持つのが面倒だから箒を持つということだからである。

余談ではあるが、よく遅れてくる人にかぎって掃除というとすぐに箒を持つそうである。

「拭く」の次の段階が「拭く」である。拭くというのは見えるところだけを拭く、言われたところだけを拭く、四角いところだけを拭くというレベルである。

一般に聞く掃除は、このレベルのものが多く。情性的にやっていたり、義務感でやらされているのは本当の掃除ではない。気持ちが入っていないから、汚れたままの雑巾で机や床を平気で拭いたりする。これでは逆に汚していることになる。

すべての物事のスタートである掃除を中途半端にするとすべてがおざなりになる。どこまで徹底させるかで、一つの物事に取り組む姿勢が培われてくる。掃除のように人が好まない根気の要ることが継続されてこそ他のどんな仕事でもできるようになるというものだ。

さて、「拭く」の上の段階が「磨く」である。磨くというのは、「よし、ここを磨いてやろう」という精神であり、拭くと磨くでは形は似ているが、心のありようがまったく違う。磨くという行為は「心を磨く」ことに続くのである。一つひとつの物事をおざなりにせず、丁寧な仕事をするのが社員を育てていく。掃除はしつけの基本的なベースとなるものである。

掃除は仕事の最優先順位

よく「掃除なんか貴重時間な時間を費やすな」とか「清掃に手間ひまかけるより仕事しろ」という声を聞く。一見、仕事を大事にしているようだが、間違った考え方である。仕事を惜しんでいるようだが、こうした会社に限って時間を無駄に使って仕事効率の上がついていないものである。

新入生歓迎会

生徒会担当 那須 智史

四月十五日（火）五、六校時に、新入生歓迎会が行われました。

二、三年生は先輩として、新入生のために丁寧に学校生活の説明をしました。三年生は最上級生として学校全体を引っ張っていく身として、昨年度より先輩としての自覚がより一層高まりました。二年生は先輩になりまだ数日ですが、一年生のためにと一生懸命に、部活動の発表や校歌斉唱に取り組みました。そして、一年生は先輩たちの姿を見て、私達も先輩のようになりたいという意見や感想が出ていました。準備期間が短く、練習不足なものも多々あったと思いますが、二、三年生の成長した場面が見られ、充実した歓迎会となりました。一年生はこれから、委員会活動や部活動に励むと思うので、上級生には温かい目で見守ってもらい、時に厳しく、時に優しく、接して欲しいと思います。

次の生徒会行事である生徒総会は、全校生徒で上志津中学校の将来を考える機会です。先ずは、議案書の読み合わせを評議員と行い、疑問や質問を真剣に考えましょう。そして、十四日（水）の本番では、活発な議論が交わされることを期待しています。

物事にはおのずと順序がある。掃除がきちんとやれるようになれば、仕事の段取りをよくする能力が身につく。逆に、仕事を理由に掃除ができないようでは、ろくな仕事ができない。掃除を二の次にするのは、順序が逆である。正しい仕事の順序とは「基本を大事にすること」だ。その順序を間違えると人は道に迷い、企業は衰退に向かう。掃除を軽視、つまり基本を軽視した企業は倒産への道を駆け落ちしていく。どの道を選ぶかはトップの責任である。多忙を理由に仕事の基本である掃除や整理整頓ができない人は、総じてろくな仕事をしていない。（中略）

少なくとも仕事はスタートする二十分前には出社して、自分のため、お客様のため、社会のため、ウオーミングアップし、掃除し、快い環境でお客様を迎えるのが基本である。

交通安全教室

安全主任 渡邊 政幸

安全な交通ルールを身につけ、事故を少しでも減らすため、四月二十二日(火)、一年生を対象に、佐倉警察や交通安全協会の方のご協力の下、体育館で交通安全教室が開かれました。

内容は、正しい自転車の乗り方及び自転車の点検項目です。

自転車の点検は「フタはしゃべる」(ブレーキ、タイヤ、反射板、車体、ベル)の合言葉を今一度思い出し、日ごろから実施しておきましょう。

また、自転車に乗った人が加害者となってしまうような傷ましい事故を再現したDVDも見ました。自転車に乗っている人が規則を守らないで運転した場合、自分が怪をするだけでなく、通行している人をけがさせたり、場合によっては死亡させることもあることを知りました。

みんなが交通ルールを守り、歩行者も自転車に乗る人も、安全で楽しい生活を送れるようにしましょう。



藤本育英会による奇贈について

昨年度末に一般財団法人藤本武宏育英会から、三十万円相当の「スピーカ2台、ハーモニードイレクター」の寄贈がありました。

藤本育英会からのご厚意に感謝し、本校の教育活動に有効に役立てていき、大切に使用していきたいと思えます。ありがとうございます。

授業参観を終えて

教務主任 海老原幸久

四月十一日(金)午後、授業参観・学級保護者会をおこないました。天候にも恵まれ、ご多忙の中、全家庭数のほぼ三分の二にあたるご参加をいただきました。

授業参観では、一年生は入学して三日目ということもあり、学級間の親睦と団結を図るために学年全体で学級対抗の長縄跳びを行いました。

二、三年生は教科あるいは学級活動の授業を行いました。それぞれの進級した新たな学年・学級の授業の状況、生徒の様子などをご覧いただきましたがいかがだったでしょうか。

授業参観の感想として「一年生の授業参観でしたが、楽しそうに取り組んでいる姿を見ることができました。」「学級の人数が多く心配でしたが、授業態度も良く、よくやっている姿が見られた。」などの感想や意見をいただきました。

また、五月にも部活動保護者会と共に授業参観がございますので、今回お越しいただけなかった保護者の皆様も、是非一ヶ月後の授業の姿をご覧いただけたらと思っています。



給食室から

栄養士 北村 麻里子

四月十日(木)、今年度初めての給食は、一年生の入学と二、三年生の進級をお祝いするお弁当給食でした。上志津中学校では、三四〇人分の給食を五人の調理員で作っています。

体育館をのぞくと、緊張気味の一年生が輪になってとても和やかな雰囲気でご飯を食べていました。当日は桜の花もまだ少し残っていて、天気にも恵まれました。二、三年生は春の暖かな日差しのおかげで、心地よさそうに校庭で食べていました。

給食室には「ごちそうさまでした!」の元気な声が毎日子どもたちから届きます。

「苦手な野菜が食べられるようになった」という生徒の声も聞かれ、とても嬉しく思います。年々よく食べるようになっていく上中学生です。

子どもたちが明るく楽しい学校生活を送れるよう、また、食を通して心身ともに豊かに育つことができるよう、今年も頑張っていきたいと思っています。



☆☆5月 主な行事予定☆☆

- 2日(金) 1年眼科検診
- 12日(月) 1年心電図検査
- 13日(火) 特別日課4時間
- 14日(水) 生徒総会
- 15日(木) 歯科検診
- 16日(金) 授業参観・部活動保護者会
- 26日(月) 全校集会
- 27日(火) 内科検診
- 30日(金) 3年修学旅行(～6/1)

<県教委ニュースのお知らせ>

毎月、千葉県教育委員会より、各種取り組みやイベントなどの情報について発行されています。千葉県教育委員会のホームページからご覧ください。

